

## 会議開催記録

会議名	第5回 森町総合計画審議会
日 時	平成29年1月13日（金）13：30～
場 所	森町町民生活センター 2階集会室
出席者	町長、副町長、審議会委員19名、まちづくり検討委員1名、事務局5名 欠席委員4名（秋山委員、長田委員、前田委員、松下育委員）
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 町長あいさつ</li> <li>3 会長あいさつ</li> <li>4 諮問</li> <li>5 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 森町総合計画基本構想（諮問案）について【資料1】</li> <li>(2) 森町総合計画基本計画（諮問案）について【資料2】</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>6 閉会</li> </ol>
議事要旨	<p>1 開会</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>町 長： 新年あけましておめでとうございます</p> <p>穏やかなお正月でしたが、昨日あたりから、寒波が来て、冬らしくなってきましたが、森町はまだまだ穏やかで有り難いです。</p> <p>今年は酉年ということで、安定とか、成熟とかいった意味合いを表す干支だと言われます。</p> <p>1月20日のアメリカ新大統領就任に向けて、日本も含め、世界が注目している中で、今年はどのような年になるかわかりませんが、皆様一人一人にとって、森町にとって、飛躍の年となることと祈念申し上げます。本日は公私共に忙しい中、第5回森町総合計画審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。現在、平成29年度の当初予算編成の段階です。第9次総合計画に盛り込んでいます事業についても、あわせて検討している段階です。今日まで庁内策定委員会を8回開催する中で、関係各位の皆様からいただいたご意見やご提案を可能な範囲で総合計画に反映させるべく、慎重に協議してきました。</p> <p>少し町の近況について述べさせていただくと、12月は確定申告を控えて、ふるさと納税が一番注目される時期です。森町においても、これまでになく多額の寄付をいただくことが出来ました。605件、1,379万5千円ということでありました。リニューアルスタートした9月から12月までで、1,304件、3,125万円1千円のご寄付をいただいています。これは単純にこの半分の約1,600万円程度の森町の特産品の売上が伸びているとみることが出来ますので、今後も森町の特産品をPRしていくという意味も込めて、ふるさと納税の推進を進めていきたいと考えています。1月8日には森町の成人式が実施されました。今年の新成人は168人、16人は転出、成人式対象者が184人、そのうち156人に参加していただきました。滞りなく無事に出来ました。それぞれにこれからの人生、道を拓いていって欲しいと願いました。</p> <p>4日には消防出初式がありましたが、今年もより少なく、無火災を祈願しています。また</p>

森町出身の書道家であります杭迫柏樹先生が昨年京都で個展を開かれまして、先生に作品をお願いしまして、その作品が1月4日から、文化会館で展示されております。ぜひ皆様ご覧になっていただけたらと思います。

本日の審議会ですが、今日までに検討してきました基本構想及び基本計画の案について、私から審議会会長に諮問させていただく予定です。その後、委員の皆さんに説明をさせていただき、ご意見をいただきたいと思います。そして会議終了後から森町のホームページを通じて、パブリックコメントを実施する中で、町民から意見を伺う場も設置していきたいと考えております。今年3月までの策定に向けて、残りもいよいよ少なくなってきましたが、本日お集まりいただきました皆さんには忌憚のないご意見をいただきたいと思います。ご審議よろしく願いいたします。

### 3 会長あいさつ

会 長： あけましておめでとうございます。昨日より大変寒くなりました。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。過去4回の間に、色々皆さんにご審議頂いた案を作ってください。職員一人一人がそれぞれ意見を持ち寄り、森町のためにどんな事が出来るか、どうしたらこれから森町が光り輝く森町になっていくか、いろんな案を寄せていただきました。町長がご意見を伺いながら集まったもの、それらを網羅した中で、案作りにご苦労をかけました。いよいよ計画案が出来ましたので、この諮問案をもとに、内容について、ご意見をどしどしお寄せいただいて、10年先の森町を見据えて、ご意見をお願いしたいと思います。その後は町民一体となって参加し、地域を明るくしていく、そんな思いで取り組んでいただけたらと思います。そういう意味で今日は大事なひとつの区切りであると考えます。そういうつもりでお願いしたいと思います。

### 4 諮問

- ・町長より会長へ諮問

### 5 議事

#### (1) 森町総合計画基本構想（諮問案）について

- ・序論案について、事務局から説明・確認
- ・資料1について事務局より説明

#### (審議)

会 長： ただ今の説明の中で、P2の「住む人も訪れる人も「心和らぐ森」の「町」を入れるという事ですね。それと、その下の「心和らぐ森」に「町」を入れるという事ですね。そうすると次のP3も同じですね。皆さん、まずその3箇所に「町」を入れて下さい。ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委 員： P2、「調和」の説明の所で、一行目、ここだけ「。」があるのはなぜですか。統一した方がいいのでは。

事務局： 「、」に直して下さい。

委員長： 何もなくていいのでは。

事務局： 「抱かれている」のところで改行して下さい。

委員長： 全部句読点つける方がいいのでは。

事務局： なぜ付けないかと言うと、詩的に作成したというのがコンセプトです。いろんな捉え方がありますので、他の事例も参考にして再検討させて下さい。

委員長： ここに書いてある「森」、森町の森なのか、一般の森なのかわからない。まぎらわしいかなと思うのですが。

会長： 前後を読んで整理して下さい。事務局にお任せします。

委員長： P1の「●」の一つ目、外部とのさらなる交流とは、何でしょうか。どういう交流をしたいのですか。もしあるのなら、内容を具体的に書いた方がいいのではと思うのですが。

事務局： 色々あって、一つにはまとまらないので、こういう書き方をしました。

委員長： 柱の中身で説明された方がいいと思います。P2の2行目、「自らも参加する」の自らは役場の皆さんの事を言っているのですか。

事務局： 町民が参加するという意味です。

委員長： 町民目線ではない気がしますが、「職員自ら」というのがあってもいいと思います。

会長： これは構想であって、これをもとに具体的に基本計画で展開されるので、構想では大まかに謳っておくということではないでしょうか。

委員長： 「まちの将来像」の表現ですが、表記というのは決まりがあってないようなもので、句読点に限っていえば、年賀状、町民憲章などにはありません。それにどういう意味があるのか、事務局で判断していただけるのではないかと思います。もう一つ気になるのは、「心和らぐ森町」についている「」、これにはどういう意味をもたせているのか、話を伺いたいと思います。二重括弧なので、ややこしくなってしまう。

事務局： 「」は強調したかったので。アンダーラインにしている所の一番外側の鍵括弧は削除して下さい。

委員長： 序論についてですが、元号と西暦が併記されていますが、特にグラフについて西暦だったり、元号だったり、まちまちです。どちらかに統一された方がいいと思います。たまた

ま元号が2年後に変わるかも、という話があるので、10年計画と考えると西暦にしておく方がわかりやすいのではないのでしょうか。

会 長： 事務局どうでしょうか。

事務局： 西暦表記を中心にして、( ) 書きで元号としたいと思います。

委 員： 諮問案のP3の1行目と3行目の「取り組み」の書き方ですが、他のページでは取り組み、取組等々、また序論案の中も表記がまちまちです。「取組」は相撲のことになりますので、送り仮名をつけていただきたいと思います。

事務局： 政府が使う文書は送り仮名のない「取組」なのですが、どこに合わせるのがいいか、整理させてください。

委 員： 時事通信社が出している表現用語用事集という辞典がありますが、それには「取組」は相撲だけに使われるとなっています。

委 員： P4以降の基本の柱の文章について、箇条書きの部分ですが、非常に読みづらいと思います。簡潔にという策定方針に照らすと、わかりづらいというように思います。例えば、基本の柱1、安心して暮らし続けられる・・・、元気な高齢者が多くいる・・・といった表現がソフトすぎて、ストレートに入ってくない気がします。他にもあります。再考していただいて、ストレートに入ってくる文章にした方がいいのではと思いました。

会 長： 事務局よろしいですか。

事務局： はい。

## (2) 森町総合計画基本計画（諮問案）について

### ・資料2について事務局より説明

#### (審議)

委 員： P14の2)、指導者・リーダーの養成とありますが、大人、青少年関係なく養成するというところでよろしいでしょうか。

事務局： 女性、若者が社会貢献出来るような体制を整備してしくため、指導者・リーダーを養成するという意味合いです。

会 長： 静岡県のとは違うのですか。

事務局： 県のものも視野に入れてということです。

委員： P13、豊かな人間性の向上という表現の所ですが、P14の施策の方向にはそれに見合う施策がないのではと思います。

P14、英語教育推進事業という所ですが、これはこれでいいのですが、国語力が落ちているということで、その対応もいるのではと思います。

P15、16の文化活動の振興という所で、特に無形の民俗文化財の伝承者の育成支援というような形が必要なのではないかというお願いです。

P23、24、現在、国策としてインバウンドツーリズムを、1,000万人、2,000万人という状況がある中で、我々もそういう事をちゃんとうたって、観光振興を考えていくような事をしたらと思います。

P23の記述にある、「年間110万人の観光客」をどういかにするか、もっと具体的な施策が要るのではと思いました。

基本構想のP8、広域連携・交流の推進の取組の方向の中に、「国内外の地域間交流の推進」とありますが、国外というのは、具体的にどこかあるのですか。

事務局： 人づくりは重要な視点です。施策のどこかに人づくりとして掲げることを検討したいと思います。教育委員会等とも検討したいと思います。

文化活動の振興の関係は、社会教育課と話をし、前向きに検討したいと思います。

インバウンドツーリズムについては、富士山静岡空港もあり、社会状況も変わってきていますので、メリットをいかして、そういった視点で考えてみたいと思います。

国外に関しては、台湾へ視察に行ったりはしていますが、森町の活性化につながることであれば、アクセスも向上していますので、交流推進については10年間の中で考えていきたいと思っています。

委員： 森町の最大の課題は人口減少で、人が来てもらうためにどうするか、この中のどこかに載っているかなと搜しましたが、空家対策というものがありませんが、一番問題は宅地増だと思うので、具体的に入れた方がいいのではと思うのですが、いかがですか。

事務局： 森町をまず町外に知っていただいて、来ていただけるような施策を実施する予定であります。住宅団地の整備、内陸フロンティアを推進するということもありますので、具体的にはまだ考えていませんが、企業、住宅を誘致できるような場所の選定、町内外から来ていただけるような、事業として具体的に入れられるものがあれば、次回までに検討したいと思っています。

委員： P28、4)に内陸フロンティアの推進がありますが、森町は3つのエリアが総合特区の推進区域に指定されています。今後、町民を始め、町外からも大変期待している方が多いと思います。皆さんご承知の通り、森町PA周辺、森掛川IC周辺、中川下工業専用地域の内陸部への移転企業の受け皿となる地域、この3つのエリアが特区に指定されています。これは森町にとって今後発展していく最大のチャンスではないかと考えます。期待感の持てる表現を使っているのではと思います。いかがでしょうか。

事務局： もう少し前向きな表現の仕方の検討をしたいと思っています。内容的には、その上に4つほ

ど書いてありますが、この取組が内陸フロンティアの具体的な取組であるので、今のご意見を踏まえ、書き込めるものは書きたいと思います。特区は来年度までになっています。内陸フロンティアという言葉は消えるかもしれませんが、そういう微妙な問題もあるのも事実です。

委員： 立場上、消防団長ですので、その立場からお話させていただきます。P34、消防団の充実について、消防団は一番要になる所ですが、しかし自分達の地域は自分たちで守る、という意識は低くなっています。サラリーマン団員も増え、土日出勤の方もいらっしゃる、家族の協力が得られない方も多いです。団員及び家族にも恩恵を受けられるシステムがあるといいと思います。充実に支援を入れていただけると消防団のやる気も出てくると思いますので、よろしくお願いします。

委員： P8、1) 地域福祉社会の形成の中で、中山間地域における買い物弱者対策を進めます、とありますが、買い物弱者は中山間地域だけではありません。中山間地域と限定をせずに、買い物弱者対策を考えていただきたいと思います。同じく、買い物弱者への支援の上に書かれている、地区社会福祉協議会の設立とありますが、これは第8次にもあったでしょうか、ずいぶん前にも、地区社会福祉協議会についてワイワイと考えた事があって、いろんな話し合いをしたことがあります、その後、地区社会福祉協議会については聞いたことがなかったので、突如として出てきたような気がします。そして、その下の高齢者福祉の推進の中で、各地区主催による敬老会開催とありますが、これはもう各地区で実際、ずっと行われていると思いますが、その上にまた別な方法で敬老会開催と考えているのか、お聞かせ下さい。

事務局： 買い物弱者の所ですが、中山間地域と書いてありますが、山本委員のおっしゃる通りで、中山間地域だけではありません。特にという意味で書いたもので、「特に」と入れるかどうかは別として、町内全域での買い物弱者支援という意味でと考えています。地区社会福祉協議会は第8次の時にも入ってしまして、引き続き第9次でも引き継がれるという事です。担い手の問題等視野に入れて、引き続き検討していくという事です。各地区主催による敬老会開催については、平成18年から、町一括から各地区・旧村単位へ変わってしまして、その後、中には旧村単位から町内会へという所もありますので、引き続きという事です。

委員： 町としては地区ではなくて、各町内会でというのがいいと思っていらっしゃるのですか。

事務局： そうでなく、地区毎の意向もあると思います。

委員： 飯田地区としては、町にお返ししたい。町でやって欲しいです。

委員： それぞれの柱の最後の所に、目標指標があります。大変分かりやすいですが、逆に誤解を招くという事もありますので、策定後になるかと思いますが、広報等で説明が必要になるかと思います。数字の公表もしてほしいと思います。例えば、P14の「学校が楽しいと答える小学生」の10年後の目標値が100と、「授業が分かったと答える中学生」の10年後の

目標位置が 90 との差、この「10 パーセントは何なんだ」ということに関心を持たれる方も町民の中にはあるのではと思います。これも事務局では相当検討した結果だと思います。説明会等でお知らせいただければと思います。

委員： P 21、22 の活力・情報発信の所ですが、今後 10 年と考えると、SNS を有効利用した情報発信という事を入れていただけると、何をするかは別として嬉しいと思います。

事務局： 主な事業として考えてみたいと思います。基本構想には ICT のことも入れたので、全分野において活用していきたいと考えています。

委員： P 27、28 の産業振興の所ですが、有害鳥獣被害防止対策事業が林業の振興の中に書かれています。担当係は林業かもしれませんが、農業の被害の方が多いのではないですか。（再掲）としていただいて、両方に書いていただきたいと思います。それと、目標指数の認定農業者及び認定新規就農者数の数値ですが、数値が減っています。P 42 の一人当たりの家庭ごみ年間排出量は減っていてもいいと思いますが、他の項目の数値は増えています。数値を増やす方向で考えた方がいいのではと思います。森町の農業の中で、一番の課題は茶業振興だと思います。基幹作物の茶業がどんどん先細りになっていて、それをどうするか、それが森町の一番の課題だと思います。それをどこか、特に記述した方がいいと思います。

事務局： 有害鳥獣は再掲にします。農業者目標値ですが、今後の推移の中で、人口減少等もありますので、10 年後のこの数値でも高いのではという意見もあり、再確認してこの数値になりました。茶業振興に関しては、現況課題認識で書き入れたいと思います。

委員： P 23、24 の所ですが、「三方を緑の山々に囲まれ、清流太田川が町の中央を流れる風光明媚な地で」の部分「森町之賦」に該当する所です。P 24、「森町之賦」に基づく森町ブランドの育成・発信としていただきたいと思います。町内にもまだ「森町之賦」を知らない方もいらっしゃるの、ぜひ入れていただきたいと思います。

事務局： 検討したいと思います。

### （3）その他

- ・パブコメ実施、意見募集の件
- ・次回日程調整のお願い
- ・商工会青年部婚活事業、女性参加の募集のお願い（会長）

## 6 閉会

以上